

SILVER-エコー



8月号



vol.345

【今月の気になる1枚】



こんにちは。僕、カッパのウッパです。僕は約30年前からこの平谷川岸辺に住んでいて仲間は40人ほどです。僕のお仕事は兵庫県が管理する「平谷川」と三田市が管理する「平谷川緑地」の境界(管理区分)を示すことです。普通のコンクリートの杭では景観にマッチしないので少し遊び心を、ということで僕がその使命を受けました。

でも、配分金はないんだ。“悲しい～”

バンザイしているものや逆立ちしているもの、そして呑気に寝ているものもあり面白いでしょう。

平谷川緑地上流から下流まで散策路を一周すると約5kmになります。ジョギングやウォーキングを兼ねて僕を訪ねてきてください。お会いできるのを楽しみにしていま～す。

(M・H記)

日常で見かけたちょっと変わった景色、偶然撮れた奇跡の瞬間、ちょっと笑えるユニークなシーンなど、ご自身が撮影された画像に簡単なコメント付けて、事務局までメールで送ってください。

また、画像やコメントは、編集する場合がありますので、予めご了承ください。
会員の皆さんの投稿をお待ちしています。



【ゴキブリのいない家にするには】

本来は熱帯雨林に生息する昆虫で、やがて人間の住環境に進出して、残飯や人間の垢、毛髪そして油を食べます。ここに手掛かりがあります。

① キッチンでは

冷蔵庫やレンジの排熱がありゴキブリの大好きな場所です。アルコールや発酵臭を好むため、ビールやジュースの空缶はビニール袋で密閉します。勿論生ごみもです。換気扇や調理台の油污れもないようにします。食後の食器はすぐに洗いましょう。

② ダイニングでは

食べかけの食材やスナック菓子を放置しないようにしましょう。

③ 洗面所、トイレ、風呂では

マット、タオルを湿ったままにしない。化粧品のクリームはしっかり蓋をします。毛髪の落ちていそうな場所です。コマメな掃除をしましょう。

④ 出入口の戸では

空けっぱなしにしない。出入り後はすぐに戸を閉じましょう。

見つけた時の対処法は「家に侵入させない」「繁殖させない」「殺す」です。昔よくやった叩いて殺すのは衛生的によくありません。その代わりに、消毒用エタノールを噴射します。ただキッチンでは火事の心配があり、使用できません。他の人に強力な掃除機を持ってきてもらい吸い込む手もあります。あとで消毒剤を噴霧しておきましょう。

捕殺できなかったときは、逃げた先をチェックします。そこに仲間がいるかもしれません。ハウサンダンゴやゴキブリホイホイの類を仕掛けます。要は常に清潔にすることですね。



(H・Y 記)

折々の野鳥 - キジ -



三田市の鳥ですが、国鳥でもあります。岩手県と岡山県が県鳥としています。

大きさはオスが80 cm、メスが60 cmとニワトリ大の鳥です。

長い尾をつけています。オスの体は深緑色で、繁殖期に目の周りが赤いハート型になります。メスは茶褐色で地味な色です。

鳴き声はオスが「ケーン、ケーン」、メスが「チョッ、チョッ」で異なります。分布は北海道を除く日本全国です。三田の市街地で見かけることはありませんが、周辺の林や山、田園地帯でよくたまに見かけます。有馬富士公園周辺で10年前に歩いているキジを一度だけ見ました。

キジ猫というのが昔からあり、猟犬を使います。枯草の茂みにいるキジを、嗅覚に優れた犬が探し出し猟師に知らせます。そしてキジ鍋という料理があります。

国鳥になっているにもかかわらず狩猟可とは、なんともかわいそうな鳥です。(H・Y 記)

気まぐれト〜ク

梅雨明けを待ってましたとばかりに、セミが一斉に鳴きだしました。家の中にいても、目の前で鳴いているのかと感ずるほど大きな声です。勢いのある声に、一年が経ったのだとしみじみ思いました。

一年前、お盆に手術を受けるためにK大学附属病院に検査通院を重ねていました。病院の正面玄関には大きな木が数本並んでいます。入院前の検査に行った際、玄関周辺は何百匹(に思われた)ものセミの大合唱。不安定な気持ちで過ごしていた私に、シャワーのように降り注ぎ、「頑張れ！」とエールを送ってくれているようでした。くよくよせず病氣と向き合っていこうと、力をもらいました。

セミの寿命は成虫になってから1〜2週間とされています。人間からすると信じられないくらい短い命の中で、全身全霊で鳴いていると感じたから、余計にあの時の自分に響いてくるものがあったのかも知れません。

人生の節目になった夏。「暑いな〜」と聞き流していたセミの声を、これからは元気の源に変えて、一年後の夏に向けて健康に過ごしていきます。

セミさん、思いっきり鳴いてね！(A・O 記)



笑顔研究所

あなたが笑顔になる時は...

橘谷 重俊（たちばなや しげとし）さん



平成27年の入会で、現在は新三田駅前駐輪場で管理業務をされています。

また、先の定時総会の役員の選任で、今年度から監事に就任されることとなりました。

人に何かを頼まれれば、なかなか嫌とは言えない性格のようで、地域班のブロック長や副班長をお願いされた時も、二つ返事で引き受けられ、今回そのような人柄もあってか、監事という大役を引き受けられたのだと思います。

現在就業中の駐輪場では、同世代で話題も合い、いろんな経験を持った方が多く、刺激になると共に、楽しくお仕事をされているようです。

ご趣味は何かとお伺いすると・・・しばらく考えられた後「長くなってもいいですか?」と、お話をされました。

学生時代から音楽が好きで、中でも「ブルークラス」と言われる、ギターやバンジョー、マンドリン、フィドルと呼ばれるヴァイオリンの一種等で編成される、いわゆるカントリーミュージックが大好きだということで、その魅力について熱く語られました。

レコードのコレクションも豊富で、処分されたというものの、まだ600枚近くはお持ちだそうです。更に、卒業論文のテーマは、「ボブ・ディラン」だったそうで、当時の音楽に、かなり影響を受けていたようです。

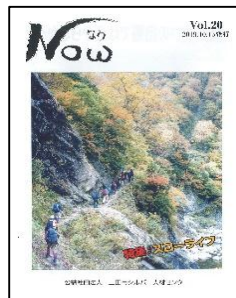
就職活動も、レコード業界を志されましたが、当時の社風には合わず、あえなく不採用。「もし採用されていても、務まってなかったかも知れないな・・・」と、感慨深げでした。

最後に、橘谷さんの笑顔になるときは?とお尋ねすると、「ターンテーブルにレコードを乗せ、ハリを落としてから、曲が始まるまでのノイズを聴いている時間ですかね。」とのこと。

ささやかな時間ですが、音楽好きの橘谷さんにとっては、至福の時間になっているようです。



Nowがスタート



毎年10月の普及啓発月間に合わせて、三田市内に全戸配布している、広報誌「Now(なう)」の編集が7月からスタートしました。

今回のテーマを「Change(チェンジ)」とし、会員みなさんの「Change」にまつわるエピソードを募集します。詳細は、同封の「こんな仕事あります」を、ご覧ください。

実りの秋まであと少し



今年も、独自事業の農業班のメンバーが、尼寺の農場で稲作に精を出しています。

梅雨の長雨による影響が心配されましたが、現在は順調に育っていて、秋には美味しい**コシヒカリ**が収穫できそうです。

9月10日頃に稲刈りを予定していますので、来月号の紙面では、販売のご案内ができると思います。

毎年、完売となっていますので、購入をご希望の方は、心の準備をお願いします。

EMよりお願い

EMせっけんを作る工程に必要な、廃油とペットボトルが不足しています。

※ペットボトルは、

500mlで中をキレイに洗い、ラベルを取り外し、キャップは付けたまま。

事務所に回収していますので、ご協力をお願いします。

第1回 各部会・委員会開催

各部会、委員会の新たな顔ぶれによる、第1回目の会が開催されました。

先ず、業務部会では、昨年度新たに設けた「独自事業運営に関する要綱」に則り、各事業の本年度の計画や、過去の実績などを改めて報告し、今後の活動状況を検証していくこととしました。

次に、総務財政部会では、地域班活動を廃止したことに関わる規程等の見直しや、今後の「会員ポイント制度」の取り組みなどが検討されました。

更に、福利厚生部会は、コロナウイルスの影響が直撃となるため、例年どおりの各種レクリエーション、旅行などの計画は困難ですが、好転することへの期待も含め、冬の日帰り旅行に関しては、旅行会社とも相談しつつ進めていくこととなりました。

安全・適正就業推進委員会は、今年度の具体的な安全就業に関する取組みの検討や、現在発生している事故の当事者から事情を聴くなどして検証を行いました。

いずれの事業もコロナウイルスの影響により、当初の計画どおりの実施が困難になることが懸念されます。



「便利屋」Reスタート！！

以前から、一般家庭の家具の移動や、簡単な修繕作業など短時間での作業等を、一定のメンバーで行っていましたが、就業に関する連絡調整等に問題があったことや、多様化する依頼に迅速に対応するため、新たに「便利屋」を作業グループと位置づけた運営マニュアルを作成し、人員調整や就業スケジュール管理、現場の下見・見積りなどを、会員が自ら行うことで、今後の依頼にスムーズに対応できる体制を作りました。

今回、新たなスタートとなった「便利屋」は、地域のお役に立つことを「生きがい」とする集団なので、依頼から就業までの対応が迅速になることで、地域での活躍の機会がさらに増えそうです。



「刃物研ぎ」人気上昇中！

コロナウイルスの影響が若干あるものの、「刃物工房」が近頃好調です。

現在の就業会員は3名で、発足当時と比べると激減しているにもかかわらず、以前は即日仕上げだった作業を、事前預かりの後日引き渡しとすることで、注文の状況によって作業日や人員を調整でき、丁寧で効率の良い作業ができるようになったようです。就業会員が少なくても、急な要望にもスムーズに対応できていることも、実績が伸びた要因の一つかもしれません。

現在は基本的に週1回の作業で、水曜日までに事務所で預かりして、金曜日以降にお渡しさせていただいてます。

包丁（1丁：500円～ 業務用除く）、ハサミ各種（1丁：500円～）などを研磨しますので、ご家庭に切れにくくなった刃物がありましたら、是非ご利用ください。



公益社団法人 三田市シルバー人材センター

〒669-1323 三田市あかしあ台5丁目32番地2

TEL:079-564-7501 FAX:079-553-1300

E-mail:sandasilver631015@sandasc.org HP: <http://www.sandasc.org/>

